

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	腎臓病・透析患者におけるCOVID-19対策の全国調査および易感染性・重症化因子の後方視的解析
研究責任者	日本赤十字社医療センター 腎臓内科 石橋 由孝
研究機関名	(主任施設)国立大学法人東京大学 医学部付属病院 日本赤十字社医療センターは分担施設として参加します。
研究目的と意義	【研究の意義】 腎臓病患者(血液透析等の末期腎不全患者も含む)のCOVID-19感染・重症化リスクは、そうでない人と比べて高い可能性があります。これまでの報告は海外からのものが多く、本邦では明らかではありません。本邦で独自にデータを収集し検討することが必要と考えられます。 【研究の目的】 本研究では、本邦の腎臓病患者におけるCOVID-19感染の感染リスク、重症化リスクおよびそれに関連する因子を明らかにすることを目的とします。
研究方法	【研究の方法】 この研究は、日本腎臓学会倫理委員会の承認を受け実施するものです。これまでの診療でカルテに記録されているデータのうち、腎不全の状態や併存疾患・薬剤・検査値情報とCOVID-19感染に関連する情報を収集します。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。 研究対象となる患者様は2019年11月から2020年8月に当院にて診療を受けられた、腎不全がありCOVID-19に感染した患者さんです。 収集されたデータは各施設にてどなたのものかわからないようにした上で、調査票に記入され、東京大学医学部附属病院へ送付されます。送付された全ての情報は、電子媒体の場合はHDDに保存された上で、東京大学医学部附属病院および筑波大学の鍵付きの棚の中に保管されます。こちらについて、ご自身のデータを使用しないでほしい、という方は主治医あるいは下記までご連絡ください。いずれも、研究へのご同意を頂いた方の情報のみを取り扱います。この研究に参加いただけても、不利益を被ることはありません。 【個人情報の保護】 この研究の最終的な結果は学会発表や論文報告として学術雑誌で公表します。 診療録より得られたデータは匿名化され、個人の名前、情報が第三者に漏洩することはありません。本研究の学会発表、論文報告においても個人を特定できる情報は一切公開されません。臨床情報・データは、この匿名化の処理と集計により、個人が特定されない形で利用されます。 収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。 本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。 本研究は、令和2年度厚生労働行政推進調査事業であり、研究課題名「腎臓病・透析患者におけるCOVID-19対策の全国調査および易感染性・重症化因子の後方視的解析」として日本腎臓学会倫理委員会にて承認を得たものです。 本研究は令和2年度厚生労働行政推進調査事業費補助金の提供を受けて実施いたしますが、東京大学医学部利益相反アドバイザー機関に報告し、利益相反マネジメントを適正に行っています。尚、患者さんへの謝金はございません。
問い合わせ先	日本赤十字社医療センター 臨床工学第Ⅰ課 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者：小田 巻 聡 TEL：03-3400-1311 FAX：03-3409-1604